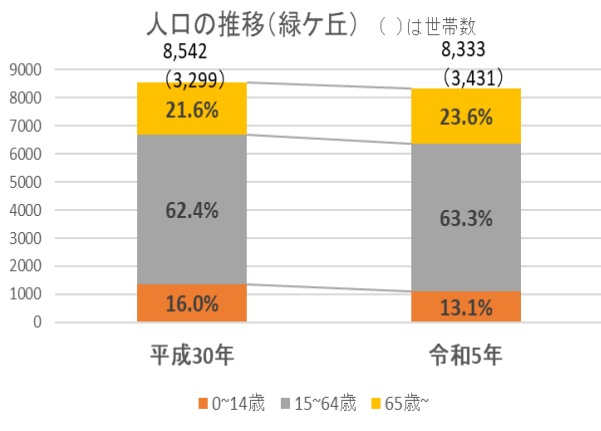


# 緑ヶ丘校区

## 地域別人口



## 基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	5
	校区社協役員数	24
	校区社協ボランティア数	61
	民生委員・児童委員数	9
	老人クラブ会員数	204
	いきいきいずみ体操数	7
	おたがいさまサポーター数	26
	高齢者見守り協力事業所数	3
	子ども食堂(子どもの居場所)数	0
対象者数	自主防災組織の有無	有
	ふれあい訪問利用者数	42
	誕生月訪問利用者数	106
	避難行動要支援者登録数	69

## ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.通学路の見守りをしてくれる人が多いまち	
2.住民同士のまとまりや助け合いが多いまち	
2 買い物 convenient なまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.いつでも自由にボールなどで遊べる場所	1.雨の日でも遊べる場所
2.子育てを応援してくれる場所	2.いろいろな遊び道具があって自由に遊べるしせつ
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.体育館やプール
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.子どもの居場所づくり	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2.地域や世代を問わない誰もが食を通して集える場づくり	2.校区の清そう活動やリサイクル活動をする
2.子ども食堂	3.年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる
3.子育て世代の交流の場づくり(子育てサロンなど)	3.自然や環境の保ご活動をする

## 地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 新たな担い手発掘のため、若い人たちの得意なことや興味のあることを活かせる場面があればよい。イベントなどの催しに部分的に関わってもらうなど、負担感なく楽しさを感じられるような工夫や役割分担が必要。
- ❖ 校区の地域福祉活動を小学校での福祉学習やSNSなどを活用しPRしてはどうか。

## ゆるやかに見守りができ、

# 日常の生活を支えられる緑ヶ丘

## 私たちの重点取り組み

### 重点取り組み①

【目 標】 地域の課題を話し合える場づくり

【具体的な取り組み】

- 地域にある団体の活動について情報交換できる場を設ける
- 多くの人に共通する「防災」をきっかけに、話し合いや勉強会について検討する
- 地域福祉について、より多くの人々が自分ごととして考えられるよう、話し合いや勉強会を検討する

### 重点取り組み②

【目 標】 認知症になっても安心して暮らせる緑ヶ丘

【具体的な取り組み】

- 自治会単位で実施している認知症サポーター養成講座を今後も継続する
- 啓発物の作製・配布について検討する
- 行方不明になったときの連絡手段・方法について考える

### 重点取り組み③

【目 的】 子どもたちを含めたあらゆる世代が集える場づくり

【具体的な取り組み】

- 福祉体験学習を入り口に小学校との連携を深め、登下校見守り隊との連携も深める
- 参加者の得意なことを活かし、無理なく続けられる方法を検討する
- 地域交流の場でできたつながりが災害時にも活かされる関係性をつくる



# 緑ヶ丘校区社会福祉協議会

緑ヶ丘校区の活動テーマ

ゆるやかに見守りができ、日常の生活を支えられる緑ヶ丘

## 重点取組み①

### 地域の課題を話し合える場づくり

和泉市子育て支援室主催のワークショップで、子ども会・PTA・子育てサロンボランティアの方が参加し、交流の場をもちました。緑ヶ丘小学校の5年生を対象に緑ヶ丘・のぞみ野自主防災会が講話を実施し、備蓄倉庫の物品や平時の取り組みなどを共有しました。



## 重点取組み②

### 認知症になっても安心して暮らせる緑ヶ丘

認知症サポーター養成講座や認知症見守り・声掛け体験会を実施しました。体験会では普段の暮らしや災害時を想定して、困っている人がいた時に、どのような声かけが効果的なのかを体験し学びました！

## 重点取組み③

### 子どもたちを含めたあらゆる世代が集える場づくり

緑ヶ丘小学校が実施する福祉体験学習への協力を通じ、小学校との連携を深めました。校区でのボランティア活動についての講話やいきいきサロンにて地域の人たちと交流の機会をもちました。老若男女関係なく、ともに触れ合えるような世代間交流を通してできたつながりが、災害時にも活かされる関係作りを行いました。



令和7年度は…



それぞれの会議（協議の場・事務方会議・グループ長会議）を継続して行い、教育関係者等の参加を検討していきます。自治会のない地域で、小規模の認知症サポーター養成講座や声掛け体験会の開催に取り組みます。「みんなで遊ぼう」等の幅広い世代の方が集い、触れ合える催しを計画し、ゲーム機等を活用することで老若男女が交流できる内容を実施します。